

伊賀市こどもの権利条例前文案

わたしたちは、友だちと笑い、時に悩みながら日々を生活しています。そんなわたしたちが一生懸命考えた願いは、「安心して、自分らしく生きられるまち」をつくることです。

わたしたちが最も強く願っていることは、いじめや差別をなくすことです。「仲間外しがなく、本音を言い合える居心地のいいクラスにしたい」「いじめがあると、学校に行きたくなくなる」という声がたくさんあります。いじめは、された人だけでなく、見ている人の心も深く傷つけます。だからこそ、わたしたちは「まず自分から変わりたい」と思っています。一人ひとりが少しずつ変わることで、まち全体が変わっていけると信じています。

また、自分の意見を安心して言える場所や、声がちゃんと届くしくみをつくってほしいと思っています。「家では言えるのに、学校では周りが怖くてなかなか言えない」という経験をしている仲間がたくさんいます。意見を言ったとき、きちんと受け止めてもらえると「また言おう」という気持ちになれます。わたしたちに関わるルールだからこそ、わたしたち自身の声を聞いてほしいのです。意見箱やホームページで安心して意見を伝えられるしくみも整えてほしいです。

困ったときに一人で抱え込まず、助け合える環境も、わたしたちにとってとても大切です。真剣に向き合ってくれる大人がいるだけで、わたしたちはずっと安心できます。「こどもだから」と話を流さずに、わたしたちの声をしっかりと受け止めてくれる大人がいるまちにしてほしいです。

そして、一人ひとりの個性を大切にしてほしいと思っています。外国にルーツを持つ友だちが言葉や文化の違いで困らないよう、また、障がいのある友だちが、その子らしく学び過ごせるよう、誰もがありのままで平等に過ごせる学校や地域を目指したいです。違いは弱さではありません。違いがあるから、支え合えるのだとわたしたちは思っています。

わたしたちこどもの声が、社会をつくることに活かされるまちを目指して、大人といっしょに笑顔あふれる伊賀市をつくっていきたいです。